

「吹き抜けて家全体がつながる感じが好き」とSさん夫妻。天井まで伸びる1尺2寸の大黒柱が特に印象的だが、樹齢数百年の台湾檜の最良部位を使ったという差し鴨居もかなりの値打ちもの



「家に入った瞬間、豊かな木の香り。見るからに頑丈な構造体で、極太の本物の檜の大黒柱も印象的。帰宅後もいい匂いがするなと思った。いただいたパンフレットにまで木の香りが移っていたんです。大喜さんの家を知ってしまおうと、もうほかの会社で建てようとは思いませんでした」
購入した土地はすぐ裏に田園が広がる。その景色を生かして南東にリビングを配置し、吹き抜けを介してロフトを含む3層がつながるプランにした。目を引くのが当初想定を上回る1尺2寸角の大黒柱だ。檜材を自然乾燥している大喜工務店の倉庫で夫がひと目惚れ。極太の丸太梁と組み合わされ、寺院や城の構造を思わせる。
重厚感あふれる構造に納得の夫に対し、「天井が高く開放感がありますね」と居心地を評価する妻。家族の気配が常に感じられる間取りもお気に入りだという。



LIVING



①南東向きにリビングをゆったりと配置。檜の床が温もりを添える ②引き戸を開放すればリビングの延長としても利用できる和室。天井は大喜工務店の倉庫に眠っていた秋田杉を使い、照明器具を埋め込んでフラットに仕上げた



リビングは3層の吹き抜け。見上げると極太の大黒柱や丸太梁などの構造が美しい。コミュニケーションが取りやすいよう2階の子ども室に室内窓を設けた



1尺2寸の大黒柱が貫く骨太な3層吹き抜け

滋賀・守山市 Sさんの家 | 家族構成/夫34歳 妻41歳 長女7歳 次女3歳



KITCHEN



造作のキッチンカウンターは、妻の亡き祖父が大工時代に蓄えていたケヤキ材を活用。奥の壁にあしらったモザイクタイルの施工時には夫も手伝ったという

家づくりを真剣に考えていくうち構造や自然素材への興味が深まり、頑丈で心地よい「無垢の木の家が建てたい」と思い至った夫。「たまたま訪れた工務店で見た8寸角の大黒柱に惹かれました。でもそこは集材材だったんです」求めるものと違うと感じた夫があちこち探し求め、見つけたのが大喜工務店。完成見学会に参加し、ここだと確信した。
「家に入った瞬間、豊かな木の香り。見るからに頑丈な構造体で、極太の本物の檜の大黒柱も印象的。帰宅後もいい匂いがするなと思った。いただいたパンフレットにまで木の香りが移っていたんです。大喜さんの家を知ってしまおうと、もうほかの会社で建てようとは思いませんでした」

上質な構造材を組み上げ重厚感と開放感を両立

Find the Good House in the Local Builder



No.03

大喜工務店

無添加骨太高断熱住宅で安心と快適を実現する

上質の檜材を銘木の産地から直接仕入れ、自社倉庫で長期自然乾燥させて大黒柱などに使用。3階建て基準のベタ基礎や2階でもグランドピアノが置ける仕様を標準とし、すべての家が基準の1.7倍以上の耐震性能を誇る。さらに柱・梁・床・天井などを無垢材で構成し、壁にオリジナルの珪藻土などを用いた「無添加骨太高断熱住宅」を推進。過剰だと思われるほどのこだわりを貫き、大手建築会社に勤める幹部から家づくりを依頼されるほど信頼は厚い。



「檜材は銘木の産地・東濃地方から直接仕入れ、自社で長期自然乾燥しています」と社長の藤田喜代次さん

DATA

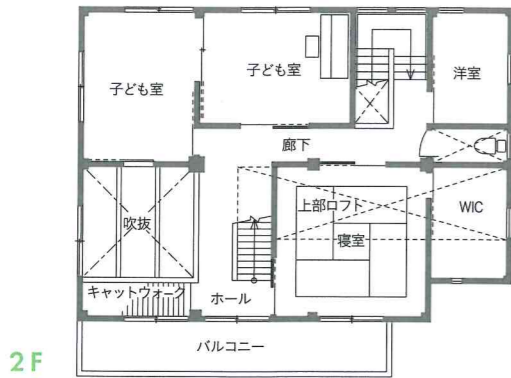
社名/大喜工務店
代表/藤田喜代次
住所/〒527-0087 滋賀県東近江市平田町764
☎0748-22-0028
年間建築棟数/新築30棟
設立/1952年1月
建築エリア/滋賀県

PROFILE



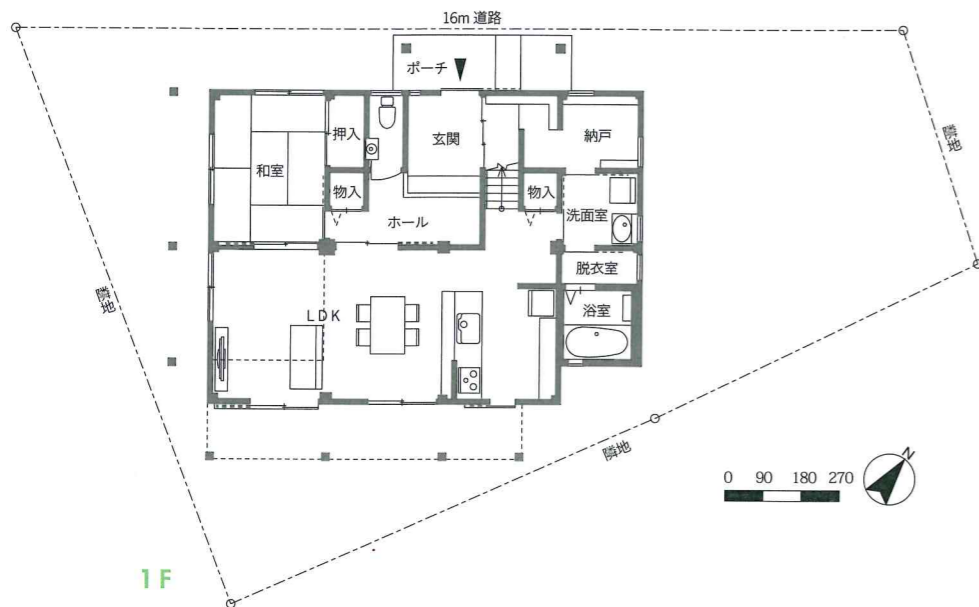
こだわり抜いた上質な住まいを提供します！

藤田英喜
住宅設計実績100軒以上の一級建築士。見た目のデザインだけでなく、生活スタイルに合わせて幅広い提案を行う。同じく一級建築士の社長とともに家づくりの全工程に携わる



DATA
 敷地面積 / 199.01㎡ (60.31坪)
 延床面積 / 136.11㎡ (41.25坪)
 1階 / 71.78㎡ (21.75坪)
 2階 / 64.33㎡ (19.49坪)
 用途地域 / 第1種中高層住居専用地域
 建ぺい率 / 60%
 容積率 / 200%
 構造 / 木造軸組工法
 本体工事費 / 3000万円
 竣工 / 2017年2月

INSTRUMENTS
 厨房機器 / タカラスタンダード
 衛生機器 / トクラス、パナソニック
 窓・サッシ / YKK AP



①・②節なしの檜材の階段。1段目には大喜工務店の倉庫にあった大黒柱の端材を使用。踊り場付近に玄関へ通じるガラスブロック窓を設置

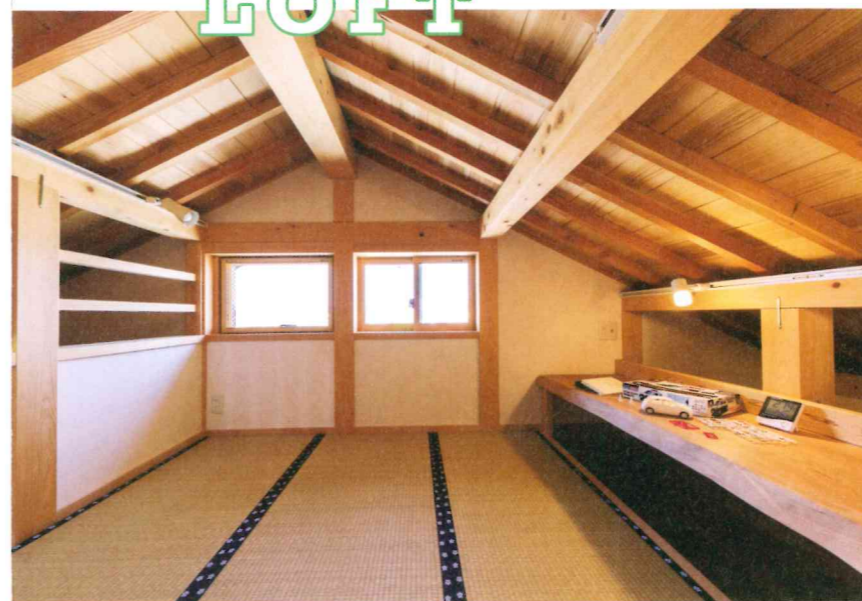


屋根裏の構造で一際目を引く松の丸太梁は太い部分で1尺5寸ほどに及ぶ。亀裂が入っているのは長期自然乾燥させた証しで、強制乾燥の材とは異次元の粘り強さを発揮するという

“ 極太の大黒柱や丸太梁が安心感を与えます ”

こだわりの自然素材がいっぱい!

LOFT



ロフトの一角を夫の隠れ家的な書斎に。掘りごたつ式のカウンターは施工支給のアサガ材で作成。左右の吹き抜けは寝室や妻の作業部屋とつながる



- CHECK POINT -

強く美しい1尺2寸の大黒柱



1尺2寸角の大黒柱は大喜工務店が東濃産檜を直接仕入れ、長期自然乾燥させたもの。リビングのインテリアとしても映える。「彦根城の檜を見て感動し、そのイメージで極太の丸太梁と組み合わせてもらいました」と夫。8寸角以上の通し柱も10本使用し、建築基準法の2倍以上の耐震強度に。

ENTRANCE HALL



③・④ガラスブロックをアクセントに利かせた天井の高い玄関ホール。洗面室側への裏動線を兼ねて土間収納と納戸を併設している。コテ跡をつけた珪藻土の壁やトチ材の式台はSさん夫妻のこだわり。板張りの壁のサイクルラックは夫のDIY



⑤御影石の立派な門柱が迎えるアプローチ。「大喜さんで家づくりをしていると刺激されて」とフェンスは夫がDIYで仕上げた ⑥黒を基調とした切妻屋根のシンプルな外観。バルコニーの色がアクセント

SECOND FLOOR HALL



2階ホールはリビングからロフトへ続く吹き抜けの緩衝エリアで、スノコ状のキャットウォークからも階下へ光を送る。普段は室内干しスペースとして利用



ロフトを見上げる吹き抜けの寝室は階段室側とホール側の2アクセス。家具の設置を想定して畳の周囲に板張りを巡らせた